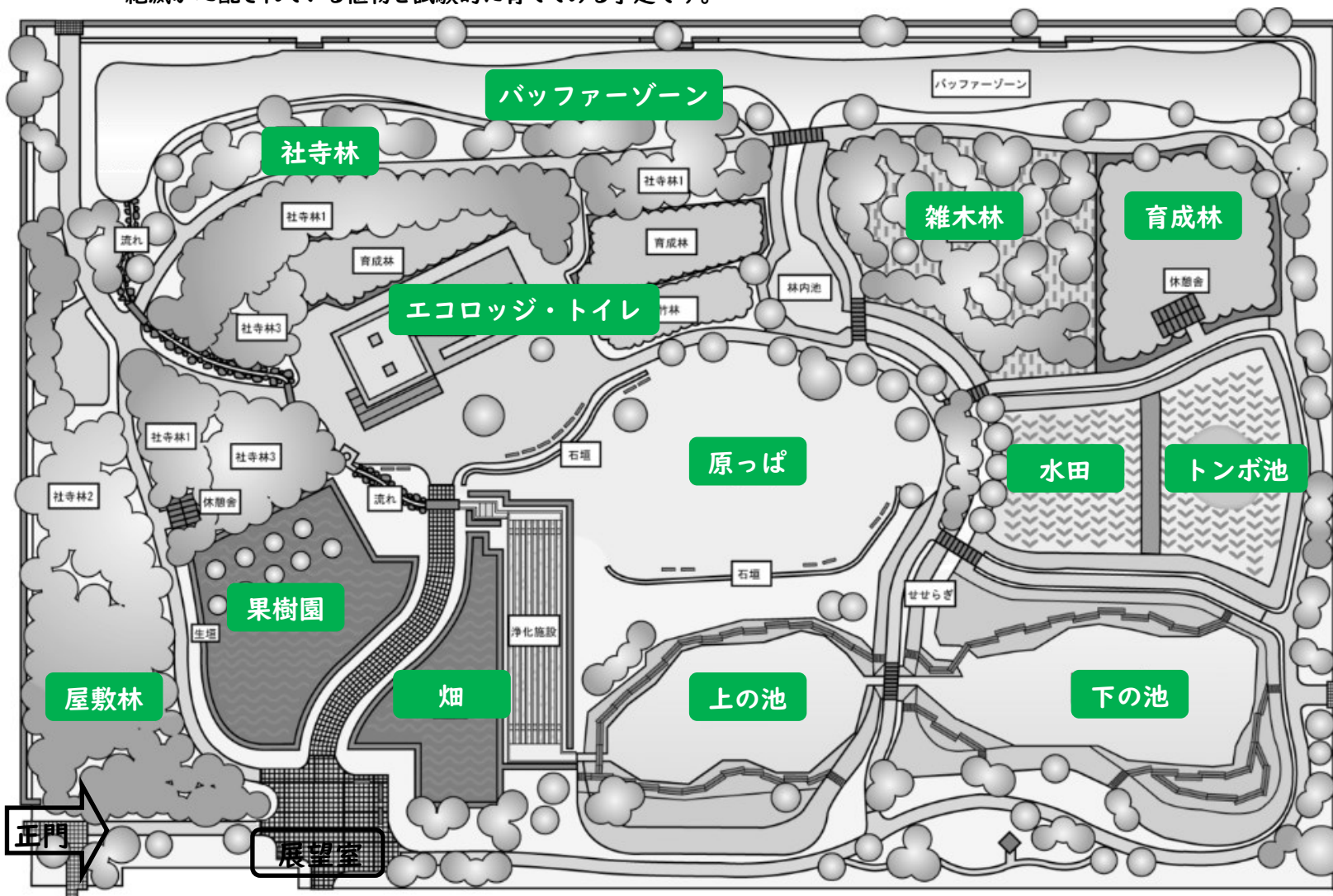


生態園マップ～2023梅雨編～

<生態園トピックス>

畑・・・今、畑にあるのはサトイモとアサガオです。二つとも「光化学スモッグによる植物被害調査」のためで、光化学スモッグが発生すると葉っぱにこすったような模様ができます。近寄って葉っぱを観察してみましょう。

水田・・・今年は、毎年行っていた田植えを一時お休みにして、休耕田の状態にしています。準備ができたなら、埼玉県カテゴリーで絶滅が心配されている植物を試験的に育ててみる予定です。



サトイモ



せいたいえんない はたけ けんきゅう
生態園内の畑に、研究のため
そだ
育てられています。

なまえ ゆらい
サトイモという名前の由来は、
さんち じせい
山地に自生していたヤマイモ（
やまいも たい さと さいばい
山芋）に対し、里で栽培される
さといも
ことからサトイモ（里芋）という
なまえ つ
名前が付いたとされています。

さいばい れきし ちよう
栽培の歴史が長いことから、
にほんかくち べつめい
日本各地でさまざまな別名が
つ
付けられています。タイモ（
たいも はたいも
田芋）、ハタイモ（畑芋）、イエ
いえいも ほか いろいろ
イモ（家芋）など他にも色々な
よ な
呼び名があるそうです。



CESSチャンネル (Youtube)

生態園についても配信

足元の植物

えんろ あしもと ちい はな さ うつとう きせつ かさ
 園路の足元にはカラフルな小さな花がひっそりと咲いています。鬱陶しい季節ですが、傘をさしながらゆっ
 えんない さんぼ がっしょう てむかえ
 くり園内を散歩してみませんか。カエルの合唱がお出迎えます。

ヘビイチゴ



なまえ つ どく
 名前にヘビと付きますが、毒はないので
 た の いっしゅ み め
 食べられる野イチゴの一種です。見た目
 ま かじつ おい
 は真っ赤な果実で美味しそうですが、
 すいぶん すく あじ うす おい
 水分が少なく味も薄いので、美味しくな
 はる さ きいろ はな じき
 いとか。春に咲いた黄色い花がこの時期
 きれい あか み
 綺麗な赤い実となります。



ヒツジグサ

にほん やせい しろ はないろ じつ
 日本に野生する白い花色のスイレン。実は
 しゅ そんざい
 スイレンという種は存在しません。スイレ
 もく か ぞく しょくぶつぜんたい さ
 ン目スイレン科スイレン属の植物全体を指
 そうしょう やせいしゅ だいひょうてき
 す総称で、野生種の代表的なものが「ヒ
 じゅうにじしん ひつじ こく ご
 ツジグサ」です。十二時辰の未の刻（午後
 じごころ はな さ
 2時頃）に花を咲かせることから「ヒツジグ
 な づ じっさい
 サ」と名付けられたといわれます（実際は
 あさ ゆうがた さ
 朝から夕方まで咲いているようです）。

カエル(蛙)

にほん やく しゅるい せかい やく しゅるい ぶんぶ せいたいえん みずべふきん いろいろ
 日本には約42種類（世界では約6,500種類）分布しているといわれるカエル。生態園の水辺付近では、色々な
 な ごえ き は すがた み
 鳴き声が聞こえたり、ピョンピョンと跳ねる姿も見られます。

しちへんげ ニホンアマガエルの七変化

もっと なじみ い みどりいろ れんそう
 最も馴染み深いカエルの一つであるアマガエル。アマガエルと言えば緑色を連想しますが、いつも
 かぎ しゅうい かんきょう あ はいいろ ちやいろ とき しろ
 そうとは限りません。周囲の環境に合わせて、灰色や茶色、時には白っぽくなることもあります。



じゅんぜつめつきぐしゅ トウキョウダルマガエル(準絶滅危惧種)



さいたまけん
 埼玉県にはトノサマガエルは
 ぶんぶ か
 分布していません。代わりに
 あし みじ
 トノサマガエルより足が短く
 たいけい
 ずんぐり体形のトウキョウダ
 ぶんぶ
 ルマガエルが分布しています
 かず へ
 が数を減らしつつあります。
 ことし あ
 今年は会えるかなあ・・・。